

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プライムメゾン照葉六丁目計画	階数	地上14F
建設地	福岡市東区香椎照葉六丁目27番22	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	960 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店・集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2017年8月10日
敷地面積	8,000 m ²	作成者	牧 敦司
建築面積	2,512 m ²	確認日	2017年8月10日
延床面積	22,856 m ²	確認者	牧 敦司



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.8

3 設計上の配慮事項

総合	その他
独自の環境配慮指針を有するアイランドシティ地区において、環境配慮指針やデザインガイドラインに沿って計画を進めている。街区単位で緑化率30%超の敷地内緑化、ガスコージェネレーションシステムの導入など、特に環境に配慮した計画としている。	アイランドシティ内での住宅供給や、TCAなどの住民参加の取り組みは、「アジア・グリーン健康住宅区モデル賞」や、日本都市計画学会の「九州まちづくり賞」など多数の景観や環境づくりに関する表彰を受けている。
Q1 室内環境 開口部は複層ガラス、内外壁は住宅性能評価の断熱性能の高い外皮性能を保つ高水準の環境としている。また、内装材は全て4☆の健康素材を採用している。	Q2 サービス性能 福祉のまちづくり条例の誘導基準相当のバリアフリー性能で、お年寄りから子育て世代まで全ての人に優しい性能を保っている。また、耐震性、高耐久性能も高いレベルを設定し、機能的で使いやすい建物としている。
LR1 エネルギー 省エネルギー計画書の中で、多くの住戸が基準値以上の性能を確保している事を確認している。また、LED照明やエネルギー消費量の少ない設備機器を導入し、省エネに努める一方で、太陽光発電と燃料電池設置で創エネもこなっている。	LR2 資源・マテリアル 構造躯体への再生資材の導入、ノンフロン材、4☆の内装素材などの資源マテリアルの採用をおこなっている。
	LR3 敷地外環境 計画戸数分の駐車場や自転車置き場を確保し、緑地率20パーセント以上、空地率30パーセント以上のゆとりと緑溢れる外部環境としている。また、東側は地域開放のオープンスペースとし、街区全体で開かれた外部環境を形成している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される